

2020 年度 地域連携活動報告書

連携先名称：阿見町

協定締結日：平成 31 年 3 月 18 日

活動状況：継続中

連携先窓口：農業振興課

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：秋山聡子（栄養）

活動体制（単位）：個人

関連教員（所属）：

活動目的：令和元年度に阿見町産のヤーコンパウダー・レンコンパウダーを添加した高齢者向け鰯つみれを考案し、令和 2 年 1 月に産学官連携事業報告会において成果報告を行った。令和 2 年度においては、レンコンパウダー入り鰯つみれはヤーコンパウダー入りに比べ水分の影響を受けやすいので、調製方法をブラッシュアップすることとした。また料理研究家の三好沙織氏との連携により、レンコンパスタを用いた家庭料理レシピの考案を行い、より幅広いメニュー開発に取り組み、対象施設への PR とレンコン・ヤーコンの産地化に寄与することを目的とした。

活動内容・成果：レンコンパウダー入り鰯つみれについては、でんぷん質が多く、片栗粉のように硬くなりやすいことが判明した。つみれを調製する際には、水分を調整しながら入れる必要があった。

レンコンパスタを用いた料理レシピについては、「れもんパスタ」「トマトの冷製パスタ」「パスタグラタン」を考案した。考案したレシピは、フライヤーとして印刷し、パスタ製造元の新井製麺の取引店舗と JA 水郷つくばの本店直売所にてパスタと合わせて常設することで、レンコンパスタの PR を図ることができた。

課題・改善点：次年度は、開発した鰯つみれを用いた食事メニューを考案し、さらに、実際に家庭の食卓や介護施設の給食で提供した際に、要介護者向けの物性特性値であるか測定する。物性特性値は硬さ、付着性、凝集性を測定し分析する。

2020 年度 地域連携活動報告書

連携先名称：茨城県阿見町

協定締結日：平成 31 年 3 月 18 日

活動状況：継続中

連携先窓口：農業振興課（担当：浅野裕治氏）

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：小川繁幸（自然資源経営学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：吉田穂積（北方圏農学科）、穂坂賢（醸造科学科）、入江彰昭（地域創成科学科）、秋山聡子（栄養科学科）、平野繁（農学科）、望月洋孝（国際食農科学科）

活動目的：阿見町の地域活性化と大学研究・教育の拡充にむけて、多角的な視点から連携事業を実施する。

活動内容・成果：

吉田穂積（北方圏農学科）：

→ 納豆菌を活用した作物の生育・収量調査

※2020 度は白菜の生育・収量調査を実施予定

小川繁幸（自然資源経営学科）：

→ 農業振興計画案の作成

穂坂賢（醸造科学科）：

→ 地域資源を活用した日本酒開発

入江彰昭（地域創成科学科）：

→ 竹林を活用した地域づくり

秋山聡子（栄養科学科）：

→ レンコンパウダーを活用した飲食メニューの開発

課題・改善点：

→ コロナウィルスの影響により連携事業が鈍化・実施できないものが生じた。特に、下記の事業については実施できなかった。

平野繁（農学科）、望月洋孝（国際食農科学科）：

→ 学生のファームステイ

以上